

1. 整備計画										
計画の名称	静岡県における安全安心で魅力ある県土づくりを目指した事前防災・減災対策の推進(防災・安全)(緊急対策)									
計画の期間	平成30年度	～	令和3年度	交付対象	静岡県, 沼津市, 静岡市, 三島市					
計画の目標										
近年、局所的な集中豪雨(ゲリラ豪雨)が頻発していることに加え、地球温暖化に伴う異常気象化が顕著に進行するなどの被害リスクの増大に対し、地域と連携・協力しつつ河川整備を進めることで、水害に強く、美しい地域づくりを行うとともに、安全安心で魅力ある県土づくりを推進する。										
計画の成果目標(定量的指標)										
①大雨・洪水・高潮・津波等に起因する人的被害を防ぐ。(毎年度死者数0人を維持) ②河川整備計画に位置付けた主要な整備箇所(延長130.3km)のうち、整備が完了した延長を39.5km(H28末)から52.8km(H33末)に増加する。 ③雨水を一時的に貯留し流出抑制を図るため、雨水貯留施設を増加する。(18施設→23施設)										
定量的指標の定義及び算定式										
定量的指標の現況値及び目標値										
当初現況値 中間目標値 最終目標値 備考										
(H28末) (R末) (R3末)										
① 風水害による死者数 0人 0人										
② 河川整備計画に位置付けた主要な整備箇所(延長130.3km)のうち、整備が完了する延長 40km 53km										
③ 公共施設における雨水貯留施設 18施設 23施設										
全体事業費	合計(A+B+C)	27,917百万円	A	27,905百万円	B	0百万円	C	12百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.04%
事業種別	主な交付対象事業	要素となる事業名(事業箇所)			事業内容(延長・面積等)			市町名	全体事業費(百万円)	備考
河川		巴川総合治水対策特定河川事業			用地、遊水池整備(A=51.0ha)、河道掘削、樹木伐採等			静岡市	17,073	
事業数		沼川広域河川改修事業			設計、用地、掘削・放水路(L=160m)、河道掘削等			沼津市、富士市	3,394	
35		堀留川広域河川改修事業			用地、護岸・掘削(L=80m)、水門工(n=1式)			浜松市	2,162	
2. 事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込 -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等))(計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●:本計画の期間中に完成 ▲:本計画の期間終了後に完成見込)										
計画の移行なし	○	1	△	34	-		備考	計画の移行あり	●	▲
3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況										
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況										
・河川整備の推進により、水害に強く、美しい地域づくりと、安全安心で魅力ある県土づくりを推進することができた。 ・河川整備を推進したことで、風水害による死者数0を達成した。 ・雨水貯留施設の整備により、雨水を一時的に貯留させ流出抑制し、下流河川等への負荷軽減を図ることができた。										
II 定量的指標の達成状況										
指標①(風水害による死者数)	最終目標値	0人			目標値と実績値に差が出た要因	計画通り進捗している。				
	最終実績値	0人								
	指標②(河川整備計画に位置付けた主要な整備箇所(延長130.3km)のうち、整備が完了する延長)	最終目標値	53km			目標値と実績値に差が出た要因	未着手区間に新規着手したことで、設計・用地調査等を実施中であり、工事未着手のため計画通りの事業進捗が図られなかったことから、目標の整備延長を下回った。今後工事着手に至ることで、河川整備の推進に取り組んでいく。			
		最終実績値	51km							
指標③(公共施設における雨水貯留施設)	最終目標値	23施設			目標値と実績値に差が出た要因	貯留施設設置予定施設の管理者との改修計画の調整の結果、改修時期が本計画以降となったため目標の整備数を下回った。				
	最終実績値	22施設								
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況										
・「多自然川づくり」による景観や生態系の配慮を行なうとともに、良好な河川空間を創出した。										
4. 今後の方針等										
引き続き、地権者との合意形成に努めながら、後継の計画において各種事業の進捗を図り、安全安心で魅力ある県土づくりを目指した事前防災・減災対策を推進するものとする。										

(1) 事業の目的

近年、局所的な集中豪雨（ゲリラ豪雨）が頻発していることに加え、地球温暖化に伴う異常気象化が顕著に進行するなどの被害リスクの増大に対し、地域と連携・協力しつつ河川整備を進めることで、水害に強く、美しい地域づくりを行うとともに、安全安心で魅力ある県土づくりを推進する。

(2) 指標

- ①大雨・洪水・高潮・津波等に起因する人的被害を防ぐ。（毎年度死者数0人を維持）
- ②河川整備計画に位置付けた主要な整備箇所（延長130.3km）のうち、整備が完了した延長を39.5km(H28末)から52.8km(H33末)に増加する。
- ③雨水を一時的に貯留し流出抑制を図るため、雨水貯留施設を増加する。（18施設→23施設）

指標の達成状況

- ①最終目標値（0人）を達成した。
- ②最終目標値（52.8km）に対して最終実現値（51.0km）と目標を達成できなかった。
- ③最終目標値（23施設）に対して最終実現値（22施設）と目標を達成できなかった。

(3) 指標に関連する実施事例

A03-006 (二) 巴川（静岡市）（遊水地整備）



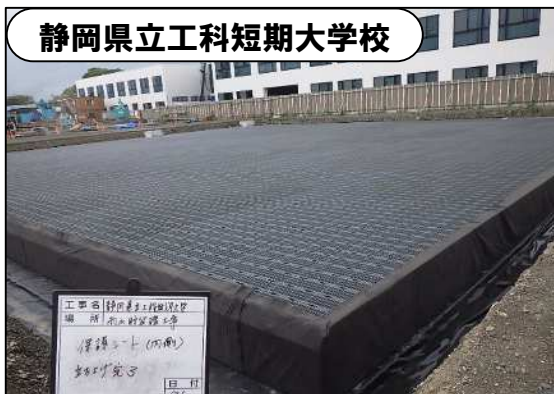
立石エリア



安東川エリア

遊水地整備により水害に強く、美しい地域づくりと、安全安心で魅力ある県土づくりを推進することができた。

A03-008 (二) 巴川（静岡市）（流域貯留施設）



静岡県立工科短期大学校



雨水を一時的に貯留し流出抑制を図るため、雨水貯留施設を整備

(4) 定量指標以外の効果発現状況

「多自然川づくり」による景観や生態系の配慮を行なうとともに、良好な河川空間を創出した。



【生物調査の実施】



(5) 今後の方針と目標達成見込み

引き続き、後継の計画において各種事業の進捗を図り、安全安心で魅力ある県土づくりを目指した事前防災・減災対策を推進するものとする。

計画の名称	1 静岡県における安全安心で魅力ある県土づくりを目指した事前防災・減災対策の推進 (防災・安全) (緊急対策)		
計画の期間	平成30年度 ~ 令和3年度 (4年間)	交付対象	静岡県, 沼津市, 静岡市, 三島市

静岡県

